

2020年度重点施策と関連設備投資について

2020年度も、安全・安定輸送の確保を最優先に、東海道新幹線の脱線・逸脱防止対策をはじめとする地震対策、土木構造物の大規模改修工事等を着実に進めます。また、「のぞみ12本ダイヤ」を活用して需要にあわせた弾力的な列車設定に取り組むとともに、次期新幹線車両N700Sの投入を開始するなど、輸送サービスの充実を図ります。加えて、オリンピック・パラリンピックを見据えた中で、国内外の多くのお客様に快適にご利用いただけるよう取り組みます。

超電導リニアによる中央新幹線計画については、工事の安全、環境の保全及び地域との連携を重視して、着実に進めます。高速鉄道システムの海外展開についても着実に推進するとともに、関連事業については、JRセントラルタワーズとJRゲートタワーの一体的な運営をさらに充実させ、相乗効果を発揮することで、収益拡大を図ります。

こうした各種課題を着実に進めるため、引き続き、収益力の強化と技術レベルの不断の向上に取り組むとともに、設備投資を含めた業務執行全般にわたり知恵を絞り効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図ります。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国を挙げての取組みが行われている状況です。当社においても、厳しい経営環境の中、感染防止に取り組むとともに、安全・安定輸送の確保を最優先に、輸送サービスの充実に向けた各種施策や中央新幹線計画等、幅広い課題に着実に取り組んでまいります。

I. 重点施策（別紙参照）

- 安全・安定輸送の確保
- 輸送サービスの充実
- 超電導リニアによる中央新幹線計画の推進
- 超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウン
- 営業施策の強化
- 技術開発の推進、地球環境保全、高速鉄道システムの海外展開
- 関連事業の着実な推進

II. 設備投資額

連結：7,180億円、単体：6,880億円

※1 中央新幹線3,800億円

※2 中央新幹線を除いた設備投資額（単体）3,080億円、うち安全関連投資2,340億円

安全・安定輸送の確保

(設備投資額：1,490億円)

地震対策をはじめ構造物のさらなる強化に取り組みます

- ・東海道新幹線の**脱線・逸脱防止対策**について、脱線防止ガードの全線への敷設を進める。
- ・地震による**駅の吊り天井の脱落防止対策**や**名古屋工場、在来線の高架橋柱等の耐震化**を進める。
- ・東海道新幹線の**大規模改修工事**について、技術開発成果を導入し、施工方法を改善するなどコストダウンを重ねながら着実に進める。



大規模改修工事

安全かつ円滑な輸送及び適切な案内情報の提供に取り組みます

- ・激甚化する自然災害や新たな感染症の流行等により生じる諸状況においては、適時適切な対応にあたり、安全の確保に努める。
- ・台風や豪雨等により列車運行に大きな影響が予想される場合に、安全を最優先に、早期に抑止することを含めて適切な運行計画を決定し、抑止後には速やかに安全を確認したうえで運転再開を行うとともに、より**適時かつ的確な案内情報**の提供に取り組む。
- ・ハザードマップ等を踏まえ、**諸設備の自然災害対策**について検討を行う。
- ・東海道新幹線において**特大荷物置場**の事前予約制や**駅防犯カメラを一元的に監視する体制**を開始するなど駅や車内等におけるさらなる安全の確保及び円滑な輸送の提供に努める。

東海道・山陽・九州新幹線への
特大荷物のお持ち込みについて

車内に持ち込める荷物のサイズとお持ち込み方法
Carriage baggage size, restrictions and rules

予約不要 No reservation required	予約制 Reservation required
A+B+C ~160cm	A+B+C 160cm超~250cm

baggage160

特大荷物のお持ち込みには「特大荷物スペースを確保」のご予約が必要です。
You need to reserve a space with an oversized baggage area if you want to board the train with oversized baggage.

特大荷物置場の事前予約制
(周知ポスター)

(参考) ・脱線防止ガード敷設：2020年度 約59km ・駅天井の脱落防止対策：東海道新幹線 全17駅、在来線 30駅 (2016~2026年度 約130億円)
・大規模改修工事：2020年度 400億円 (2019~2022年度 1,360億円)

輸送サービスの充実 (1)

(設備投資額：930億円 ※(1)(2)計)

2020年3月に実現した「のぞみ12本ダイヤ」等により、引き続き輸送サービスの充実に取り組みます

<東海道新幹線>

- ・車種統一に伴う全列車の最高速度285km/h化等により実現した「**のぞみ12本ダイヤ**」を活用して、ご利用の多い時期や時間帯に、需要にあわせた弾力的な列車設定に取り組む。
- ・地震ブレーキ距離の短縮や状態監視機能の強化等による安全性・安定性の向上や、バッテリー自走システム等による異常時対応能力の強化等を実現する**次期新幹線車両N700S**について、2020年7月に営業運転を開始する。



N700S

<在来線>

- ・「しなの」、「ひだ」等の特急列車について、引き続き需要にあわせ弾力的に増発や増結を行う。
- ・安全性・安定性のさらなる向上等を実現した**新形式の通勤型電車315系**の新製に向けて設計等の諸準備を進める。
- ・東海道本線（大府駅～岡崎駅間）、関西本線（名古屋駅～桑名駅間）に、**集中旅客サービスシステム**の導入駅を拡大する。



315系 (イメージ)

(参考) ・N700S：2020年度 12編成投入 (2020~2022年度 40編成投入)
・315系：2021~2025年度 352両新製

輸送サービスの充実（2）

より便利に安心して鉄道をご利用いただけるよう設備の整備等を進めます

- ホーム上の可動柵について、引き続き東海道新幹線では新大阪駅への設置工事を進め、23～24番線で使用を開始するとともに、在来線では金山駅の東海道本線への設置工事を進め、上り線の使用を開始する。
- 車椅子利用のお客様が東海道新幹線をより便利で快適にご利用いただけるよう、改善に向けて様々な角度から検討を進める。
- 自由通路新設及び駅舎改築の計画を引き続き進め、桑名駅、蟹江駅で順次供用を開始する。また、刈谷駅については、ホームの拡幅、可動柵の設置等の改良に向けた準備工事を進める。
- 在来線ホームにおける内方線付き点状ブロックの整備を引き続き乗降1千人以上の駅を対象に進める。
- 在来線駅におけるエレベーターや多機能トイレの設置等バリアフリー設備の整備を推進する。



新大阪駅26番線 大開口可動柵



桑名駅（自由通路・橋上駅舎イメージ）

（参考）・可動柵：

新大阪駅 2022年度までに20～24番線に設置予定（25～27番線は設置済）
24番線は2020年7月、23番線は2021年3月使用開始予定
金山駅 東海道本線上り線は2021年3月、下り線は2021年12月使用開始予定

・内方線付き点状ブロック
乗降1千人～3千人未満の駅：8駅（2020年度）

超電導リニアによる中央新幹線計画の推進

（設備投資額：3,800億円）

工事の安全、環境の保全及び地域との連携を重視し、沿線各地で工事を着実に進めます

- 中央新幹線計画については、健全経営と安定配当を堅持し、柔軟性を発揮しながらプロジェクトの完遂に向けて、さらなる緊張感を持って着実な推進に取り組む。
- 引き続き、地域との連携を密にしながら、測量、設計、用地取得等を計画的に遂行する。
- 工期が長期間に亘り難易度が高い、南アルプストンネル、品川駅、名古屋駅のほか、山岳トンネル、都市部非常口及び中間駅等について、工事の安全と環境の保全を重視し、引き続きトンネルや非常口の掘削、地中連続壁の構築等の各種工事を着実に進める。また、高架橋工事に着手するほか、都市部トンネルの掘削に向け、シールドマシンの製作及び現地での組立等を行う。
- 中央新幹線の高度かつ効率的な運営・保守体制の構築に向けて取り組む。



日吉トンネル（南垣外工区）：本線トンネルの掘削



神奈川県駅（仮称）の起工式



シールドマシン

（参考）・シールドマシン：シールド工法で用いられる円筒形の掘削機

超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウン

(設備投資額：30億円)

超電導リニア技術のさらなるブラッシュアップ・コストダウンに引き続き取り組みます

- ・山梨リニア実験線において、**改良型試験車**を投入したうえで、営業車両の仕様策定に必要なデータ取得のため、**走行試験**に専念する。
- ・改良型試験車を投入するなど重要な局面に入ることから、営業運転に対応した保守体系の確立に向けてこれまでの開発成果の実証等を進めるとともに、さらなる**超電導リニア技術のブラッシュアップ**及び**営業線の建設・運営・保守のコストダウン**への取組みをより一層強化する。



L0系による走行試験の様子



改良型試験車

(参考) ・山梨リニア実験線における長距離走行試験：累積走行距離310万km (2020年2月末まで)
・改良型試験車：2020年5月頃 投入予定 (製作車両数 先頭車：1両、中間車：1両)

営業施策の強化

(設備投資額：200億円)

東海道新幹線のネット予約を多くのお客様にご利用いただけるよう取り組みます

- ・「EXサービス」(エクスプレス予約/スマートEX)の便利さを知っていただき、より多くのお客様にご利用いただけるよう取り組みとともに、観光でのご利用拡大に向けて、幅広く需要の喚起を図る。
- ・「EXサービス」について、ご家族等の**複数人のお客様でのチケットレス乗車サービス**や**遅延している列車の指定席の予約・変更が可能になるサービス**の開始に向けた諸準備を進める。



「スマートEX」ポスター

沿線の観光資源の魅力を活かし、営業施策を積極的に展開します

- ・京都、奈良、東京、飛騨等を対象に、魅力ある商品設定や観光キャンペーンの展開に取り組む。



「そうだ 京都、行こう。」
秋は夕暮れ編ポスター

訪日外国人のお客様に便利に鉄道をご利用いただけるよう取り組みます

- ・引き続き訪日外国人のお客様へのご案内について充実を図るとともに、商品の販売促進等を実施する。
- ・「スマートEX」の訪日外国人のお客様向けサービスについて、英語版予約サイトの認知度向上を図り、ご利用拡大に努めるとともに、「QRコード」による**チケットレス乗車サービス**開始に向けた諸準備を進める。



訪日外国人のお客様向け
「QRコード」によるチケットレス乗車サービス

(参考) ・「QRコード」によるチケットレス乗車サービス：「QRコード」を表示したスマートフォン画面等を東海道新幹線改札機にかざすことで、改札を通過できるサービス (訪日外国人のお客様向けに2021年春に導入予定)

技術開発の推進、地球環境保全、高速鉄道システムの海外展開

(設備投資額：20億円)

安全やコストダウンに資する技術開発、地球環境保全の取組みを推進します

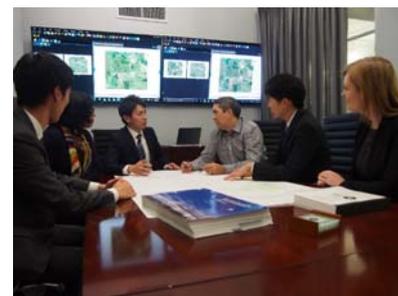
- ・**状態監視技術等**を活用した検査や保守の高度化・省力化、及び設備の維持更新におけるコストダウンにつながる技術開発を推進する。
- ・地震や豪雨等の各種災害に対して、より安全性を高めるための技術開発を実施する。
- ・ハイブリッド技術の確立に向けて、引き続き**在来線次期特急車両HC85系(試験走行車)**による**走行試験**を実施する。
- ・引き続き**N700S確認試験車**による**走行試験**を実施する。
- ・N700S等の省エネ型車両の投入等、**地球環境保全**に資する諸施策を推進する。



ハイブリッド方式による在来線次期特急車両HC85系(試験走行車)

高速鉄道システムの海外展開の取組みを推進します

- ・**米国テキサスプロジェクト**の事業開発主体に対して、「HTeC」により技術支援を進めるとともに、現地子会社「HInC」及び日本側企業とともにプロジェクトのコアシステム受注の契約に向けた活動を継続する。また、超電導リニアシステムを用いた**米国北東回廊プロジェクト**のプロモーション活動を推進する。
- ・**台湾高速鉄道**において運行管理システム及び電力関連設備の更新に関する技術コンサルティングを継続的に実施する。
- ・「Crash Avoidance (衝突回避)」の原則に基づく日本型高速鉄道システムを国際的な標準とする取組みを進める。



HTeCとテキサス・セントラルの打合せの様子

(参考) ・HC85系：2022年度を目標に量産車を投入する方向で走行試験を実施
・「HTeC」・「HInC」：米国テキサスプロジェクト推進のために当社が設立した現地子会社

関連事業の着実な推進

(設備投資額：310億円(うち連結子会社の設備投資300億円))

JRセントラルタワーズとJRゲートタワーを中心に、お客様により一層満足いただけるよう、関連事業を推進します

- ・JRセントラルタワーズとJRゲートタワーの一体的な運営をさらに充実させ、**JRセントラルタワーズ開業20周年**の取組みを行うなど積極的な営業・宣伝活動等を通じ、相乗効果を最大限に発揮することにより、様々なニーズにお応えし、収益の拡大を図る。
- ・流通事業における駅構内の店舗開発や駅ビル事業における駅商業施設のリニューアル等により事業を活性化するとともに、当社所有地の有効活用に取り組み、さらなる収益拡大を図る。
- ・東京地区において、東京駅で「**東京ギフトパレット**」、有楽町駅・新橋駅間で「**日比谷グルメゾン**」を開業する。



JRセントラルタワーズとJRゲートタワー



東京ギフトパレット
TOKYO GIFT PALETTE



日比谷グルメゾン
HIBIYA GOURMET ZONE



JRセントラルタワーズ 開業20周年キャンペーン

(参考) ・東京ギフトパレット：東京駅八重洲北口に2020年6月開業予定のお土産・手土産の専門店街
・日比谷グルメゾン：有楽町駅・新橋駅間の内山下町橋高架下に2020年5月開業予定のグルメスポット